

< 新大和橋 >

◇ 諸元等

- ・所在地：藤井寺市舟橋町一柏原市上市
- ・路線名：府道 802 号・八尾河内長野自転車道線
(南河内サイクルライン)
- ・建設年：現橋 1974 年(昭和 49)、(初代 1874 年(明治 7 年))
- ・形式：上路プレートガーダー12 連
- ・橋長：204.4m、(108 間 196m)
- ・支間長：不明
- ・幅員：2.0m、(1 間半 2.7m)



◇ 歴史

東高野街道が大和川を渡る所にかけられた橋。

大和橋は、大和川の河口近く of 紀州街道が大和川を渡る所に架かっている。新大和橋を建設する際に、少しでも費用を安く抑えるために、当時架け替え工事が行われていた大和橋の仮設橋を安価に購入して架けたので「新」をつけた新大和橋となった。

◇ 特徴

新大和橋のすぐ西側に架かる近鉄道明寺線の大和川橋梁より古く、1874 年に完成した。藤井寺側から橋を渡ると対岸は柏原市である。JR 大和路線(関西本線)や近鉄大阪線が利用でき、また JR 柏原駅周辺に買い物に行く人も利用する。両市を跨いだ生活圏が形成されている。

◇ 文化的価値

新大和橋の両端は大和川の堤防につながり、堤防脇の国道や市道は下の方にあるので、階段で降りる構造となっている。木橋から鋼管柱コンクリート橋脚・鉄骨橋になる現在まで、何度か架け替えや改修が行われてきたが、自動車道には改修されず、当初と変わらない状態で残った。



大和川左岸入口



大和川左岸河川敷より

◇ 周辺環境

古市古墳群：世界文化遺産「百舌鳥・古市古墳群」大きさが応神天皇陵(425m)から方墳(10m 未満)まで、バラエティに富み、被葬者の階層性をうかがわせる。

◇ 参考文献

- ・「Web 風土記ふじいでら」([藤井寺市の交通－新大和橋 \(www.ne.jp\)](http://www.ne.jp))